



小野幹基さん



池内卓也さん

三浦和也さん



信太清勝さん

嶋田善四さん



新堀鉄雄さん



練習後の楽しみ 歌舞伎談義に花が咲く



嶋田暖くん

嶋田孝太朗くん



今野順一さん

高崎一輝さん



三浦邦文さん

児玉佳史さん

### 歌舞伎は変わるもの カッコよく演じたい

せと、稽古に打ち込みます。忠度と景高が対峙する場面は特に念入りに、休憩中も二人の稽古は続きました。

女形を演じるのは忠度の乳母「はやし」役、三浦和也さんと、忠度の許嫁「聴く野舞」役の池内卓也さん。女性の仕草も堂に入ったものですが、まだまだ試行錯誤の連続とのこと。練習中も細かな部分まで意見を出し合い稽古を進めていきます。

「はやし」の息子「太吾平」役の嶋田洸さんと、人足回しの「茂次兵衛」役、三浦民晴さんは、実家に盗みに入り、開き直る太吾平との軽快な掛け合いが、見るものの笑いを誘う、物語の見せ場の一つ。見る人を

楽しませようとアドリブも飛び出し、稽古は遅くまで続けられました。下座で美声を響かせるのは副会長の嶋田善四さん。独学で覚えたという三味線と笛を担当する信太清勝さん。舞台裏で演出と太鼓を担当する三浦邦文さん達ベテラン勢は、若い役者を支える縁の下の力持ち。

若手からの相談に、熱心にアドバイスしますが、「こうだと決まったものはない。」とのこと。「歌舞伎は変わっていいもの、カッコよく演じてもらいたい。」と心意気を語ってくれました。

また、衣装から大道具まで全て手作りしてしまう、道具担当の新堀鉄雄さんや音響や照明で演出を一手に引き受ける新堀豊宏さんはじめ、多くの方達が集まって歌舞伎を支え、稽古は夜遅くまで続けました。